



『ひといき』川島 照代 画

理念

- 安心・安全・やすらぎ・心のこもったサービスを提供します。
- 地域・住民・患者から評価・信頼される医療を提供します。
- 絶えざる改善と生涯教育を継続し、職員個々の能力を向上します。

運営方針

- 整形外科の専門病院として、良質の医療を提供できるように最善の努力をします。
- 患者、利用者の権利を尊重し、インフォームド・コンセント(説明・同意・納得)を含む安全管理を徹底します。
- 「医は仁ならざるの術、務めて仁をなさんと欲す」の精神を尊重します。
- 社会の変化にしなやかに対応しながら心技態を切磋琢磨し、全人間的な成長を目指します。
- 地域の皆様の健康と生命を守るために最善を尽くします。
- 職業を通じて地域社会に奉仕し、地域の社会的共通資本として認められるように努力します。
- 高齢化社会を迎え、安心・安全と心のこもった医療・介護を提供します。

骨粗鬆症の治療について

社会医療法人 玄真堂 川島整形外科病院

院長 川島 眞之



本誌において、何度か当地域における骨粗鬆症治療の医科歯科薬科等の多職種連携の取り組みについて報告させていただきました。そして昨年、名古屋で開催された日本骨粗鬆症学会のシンポジウムでは、渡辺薬局の松本康弘先生が当地域における骨粗鬆症治療連携の現状を薬剤師の立場からご発表されました。さて今回は、骨粗鬆症の治療について述べたいと思います。

骨粗鬆症の原因は大きくわけると2つあり、1つは加齢などが原因となる「原発性骨粗鬆症」で、もう1つは疾患などによる「続発性骨粗鬆症」といいます。ほとんどの患者さんは前者になりますので、ここでは主に「原発性骨粗鬆症」について述べます。

骨粗鬆症において大きな問題となるのがやはり骨折です。なかでも高齢者の大腿骨近位部骨折（いわゆる股関節の骨折）は、手術を行わないと誤嚥性肺炎やエコノミークラス症候群などの様々な合併症により死亡する確率が高く、また手術を行ったとしても悪性腫瘍と同等の高い死亡リスクを伴うといわれており（日本での受傷1年間の死亡率は約1割）、

その予防が極めて重要です。当院では、年間200人以上の患者さんが大腿骨近位部骨折により手術を受けています。その他、脊椎圧迫骨折や上腕骨外科頸骨折（肩関節の骨折）、橈骨遠位端骨折（手関節の骨折）など様々な部位での骨折がみられます。骨折が一度発生すると、次の骨折発生リスクが3倍、5倍と倍々ゲームのように増えていき、骨折が連鎖していくことからドミノ骨折と表現されることもあります。

骨の量の指標となる骨密度は20代で最大となり、その後は徐々に低下するといわれています。そのため骨粗鬆症を予防するためには、成長期からカルシウムをしっかりと摂取し、できるだけ多くの骨を貯蓄して、その後の骨量低下に備えることが重要と考えられています。しかしながら、既に中高年で骨量が減少してしまっている方でも、現在は優れた薬物が登場しており、骨量を増やすことも可能となり、骨量となりました（反応には個人差があるため、すべての方で増えるとは言えませんが）。

骨代謝に関与する骨粗鬆症治療薬の作用機序には大きく分けて2種類あり、骨形成（骨芽細胞）を促すものと、骨吸収（破

骨細胞）を抑制するものがあります。前者を代表するものとして副甲状腺ホルモン製剤があります。また後者ではビスホスホネート製剤や抗ランクル抗体製剤があります。また最近は両者の機能を併せ持った抗スクレロスタチン抗体も登場し、より強力な効果が期待されます。また腸管からのカルシウム吸収を促進させ骨形成を促す活性型ビタミンD3製剤もよく用いられています。「骨粗鬆症の予防として日光浴をしましょう」と言われたことがあるかもしれませんが、ビタミンDが体内には天然型ビタミンDが存在し、日光を浴びることにより活性型ビタミンD3となり骨形成を促進します。よって活性型ビタミンD3製剤を摂取することは効率が良い治療といえます。

10年以上前になりますが、骨吸収抑制薬を投与されている患者さんに顎骨壊死・骨髄炎が発症するとの報告があり、それ以降、骨吸収抑制薬を投与されている患者さんが抜歯する際には、ポジショナーパーにて休薬期間をおいて抜歯することが推奨されてきました。長年骨髄炎を治療してきた私共としては、休薬期間を設けず早期から感染巣を除去したほうが

よいのではと考えていましたが、昨年（2023年）にポジショナーパーが見直され、原則として骨吸収抑制薬は休薬しないことが提案されました。以上のように、現在多くの骨粗鬆症治療薬が登場しています。骨粗鬆症治療薬が登場しているが、作用機序や代謝経路、投与方法、投与間隔などそれぞれの薬の特徴を踏まえた薬の選択が必要です。

骨粗鬆症の治療を行うにあたり、歯科との連携が重要視されています。中津市では長年の医科歯科連携で良好な関係が築かれています。しかしながら、近年、患者さんよりなかなか歯科の予約が取れないとの声が聞かれるようになってきました。特にかかりつけのない患者さんでは歯科受診のハードルが高くなっているようです。患者さんが骨粗鬆症の治療を希望される際に、タイミングを逸することなく治療を開始するため、私共の間診程度で骨粗鬆症の治療を開始せざるを得ないことがあります。中津市近隣では歯科医師が足りていないとの声もあるようですので、今後、この点につきましては歯科の先生方とより親密に協力を行っていくことができればと思います。

中津ロータリークラブ創立70周年記念シンポジウム —命輝く人材育成—蘭学の里・中津の未来に向けて

社会医療法人玄真堂 川島整形外科病院

理事長 川島 真人

この度2023年11月12日、中津ロータリークラブ創立70周年記念シンポジウムが中津文化会館にて開催された。(図1)主催者は細川唯2023(2024年度中津ロータリークラブ会長、実行委員長は筆者である。細川会長は挨拶の中で、新型コロナウイルスのパンデミックや、ウクライナ戦争など、激動の時代に生き残るために何を準備しないといけないのか?戦争の無かった江戸時代に、中津の藩主は何を準備していたのか?それがどのようなになったのか?いかにして「福

澤諭吉」が生まれたのか?そのヒントは、中津藩の歴史にあると思う、今回のシンポジウムを企画したと話した。(図2)来賓挨拶は奥塚正典中津市長とボランテアで20年間にわたり大江医家史料館並びに村上医家史料館にある数千冊の史料の解読をされたヴォルフガング・ミヒエル九州大学名誉教授が行った。(名誉教授は体調の関係で筆者が代読)

蘭学の出会いから説き起こし、19世紀のオランダからみた徳川日本の学問の世界、西洋兵学から福澤が大いに学び「西洋事情」「学問のすゝめ」等、多くの著書を出したが、その源流に蘭学があることを力説した



図1 中津RC70周年記念シンポジウムポスター

の講演が行われた。(図3)岩下教授は、慶応義塾大学大久保健晴教授が最近出版した『今を生きる思想 福澤諭吉 最後の蘭学者』を取り上げた。福澤と



図3 岩下哲典教授



図2 細川唯会長挨拶



図5 曾我俊裕氏



図4 一節截演奏

ことを評価し、「福澤諭吉は最後まで蘭学者であった。」と話した。引き続き、前野良沢由来の「一節截(ひとよぎり)」演奏(図4)の後、シンポジウムが開催された。筆者と村上医家12代目の村上玄兒先生の司会で、中津市から曾我俊裕氏・本徳昭光氏・大分市から島田達生氏の3名が講演した。

中津市歴史博物館学芸員・曾我氏は「蘭癖大名 奥平昌高とその周辺」というテーマで講演された。(図5) 奥平昌高は、最晩年の前野良沢に蘭学を学び、1810年世界初の日蘭辞書である『蘭語訳撰』を刊行し、シーボルトやオランダ商館の人々とも深く交流した。この辞書を出版した背景には、前野良沢や杉田玄白達が「ターヘル・アナトミア」の翻訳と出版に1771年から1774年に至るまで3年半もかかったのは辞書が無かったということであろうと、辞書の編纂に熱意をもったということである。その『蘭語訳撰』の翻訳に中心的役割を果たした神谷弘孝(源内)は、藩主・昌高と共にオランダ商館長・ブロムホフや幕府奥医師・桂川甫賢、蛮書和解御用・馬場佐十郎らと頻りに交流し、それを裏付ける絵画も発見されたということである。また、神谷家子孫宅から発見された史料からは、京都の公家・堤家からシーボルトの弟子であった高野長英を中津藩に斡旋して欲しいという書簡が発見されており、当時の中津藩が、蘭学の世界で大きな役割を果たしていたことが明らかになった。中津藩における蘭学・洋学流行の背景には、藩主を中心とした諸学問の基盤としての儒学、特に古学の奨励と、儒学以

外の諸学問に比較的寛容な藩であったことが要因であったと話した。

続いて、中津の歴史と文化を学ぶ会の前会長で顧問の本徳照光氏が「村上玄水とパイオニア精神」のテーマで講演された。(図6) 村上家7代・玄水は1781年に出生、幼い頃、中津藩校・進脩館で儒学者倉成龍渚や野本雪庵に漢学を学び、学問的基礎を蓄積していた。後に久留米藩の梯隆恭から兵法や軍学を学び帰郷後、1806年広島島の蘭医中井厚沢が村上医家を訪れ、多大な影響を受け医学を志すようになった。村上天には、玄水の多くの軍学や哲学、天文学にいたる幅広い学問の著作が残されている。中でも最も偉大な業績は、1819年59名の医師達が見守るなかで、自らの執刀で行った人体解剖である。記録の残るものとしては九州で最も早い時期のもの



図6 本徳照光氏

である。この解剖の様子を詳細に書き残すとともに藩の画家・片山東籬・佐久間玉江にスケッチさせ、「解剖図説」「解剖記」という書物で3800字に及ぶ所見や手順を詳しく述べている。この時参考にしたのが、津山藩の宇田川榛斎(玄真)の「医範提綱」であり、この本は村上医家史料館に現存している。玄水は解剖することにより病の根源を察知して治療法を明らかにするなど意義を説き「解剖は、人を活かす術である」と記している。解剖学の臨床医学への応用という強い熱意にかられていたことが、その後の日本の解剖学の原点にもなりうる業績であると話した。



図7 島田達生名誉教授

を出版したものの、様々な事情から著者名の中には前野良沢の名は無く杉田玄白らが記載されている。しかし、福澤諭吉は杉田玄白が83歳の時、当時を回想した手記『蘭学事始』を1869年に復刻し、その中で良沢が『解体新書』和訳の中心人物であることが判明した。更に1890年の再版において「彼らの労苦を考えると涙が流れて止まらない」と諭吉は序文の中で述べている。

更に田原淳について講演された。田原淳の生家は国東市安岐町であるが、伯母の夫にあたる中津の田原春塘の養子となった。東京帝国大学卒業後、ドイツマールブルグ大学のアショフ教授に私費留学し、ヒト、ヒツジ、イヌ等の心臓の連続切片を光学顕微鏡で観察し、心房と心室をつなぐ房室連結筋束を発見し、これが電気刺激を送る通路と考え、「心臓刺激伝導系」と命名し、ノーベル賞級の仕事をを行った。この発見は心電図の解読やペースメーカーの開発にも繋がり、循環器の分野に於いても歴史的な業績となり、恩賜賞を授かった。養父田原春塘は、中津で最初の民間病院を設立した筆者の親戚筋にあたる右田力太郎が富永章一郎の献体解剖を行った時の助手の筆頭であったことから、養父春塘が解剖学に関心をもっていたことはいうまでもない。このために春塘が田畑など多くの私財を犠牲にして私費留学させなければ、田原淳の偉大な業績は無かつただろうと締めくくった。

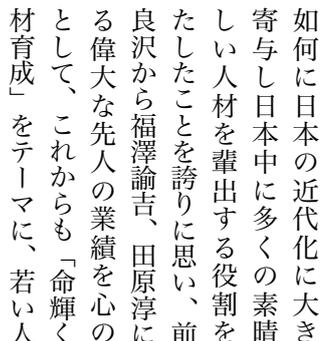


図9 落合知子教授

続いて、コメンテーターとして、中津市出身でハウステンボスの設計者である横松宗治氏は、オランダのライデン大学等にも度々訪問し、オランダの文化が如何に日本に大きな影響を与えたか証明するためにも極めて正確な構造物をハウステンボスに復刻し、日本とオランダが今でも繋がっていることを紹介した。(図8)

更に、長崎国際大学人間社会学部の落合知子教授は、中津市は決して大きな街ではないが、村上・大江医家史料館、中津市歴史博物館、中津城博物館、福



図8 横松宗治氏

澤記念館等多くの施設を作り、教育や観光に寄与しようとしている稀に見る街であるので、「蘭学の里」を活用して観光はもとより、学術交流等がますます盛んになることを祈念すると中津にエールを送られた。(図9)

を育成していくことが私達
ロータリーの使命であると筆
者が実行委員長として結んだ。

(図10)

最後にミヒエル九州大学名
誉教授のメッセージを掲載し
て終わりとする。(図11)



図10 川島真人

九州大学名誉教授 ヴォルフガング・ミヒエル先生の言葉

2002年4月に「中津
と16世紀から19世紀にかけ
ての東洋と西洋の文化交流」
について、ロータリークラ
ブで講演させていただいた
のが私の中津研究の始まり
でした。

当時のことは今でも鮮明
に覚えております。中津で
の私の調査に協力してくれ
た大学院生は、その後二人
とも学位を取得し、今は教
授になって研究を続けてい
ます。中津市のおかげで毎



図11 ヴォルフガング・ミヒエル名誉教授

年刊行することができた医家
史料館叢書は全部で22冊にも
なりました。これほど多くの
ことを学ばせていただいたこ
とに対して、あらためて感謝
申し上げます。

江戸時代の中津の人々の探
究心や行動力には感銘を受け
るばかりです。

当時の人々の精神が今も生
きていることは、ロータリー
クラブの活動にも表れていま
す。中津ロータリークラブの
創立70周年をお祝い申し上げ
るとともに、記念シンポジウ
ムのご成功と皆様の益々のご
発展を心より祈念いたしま
す。大切な日に欠席させてい
ただくことを何卒ご容赦くだ
さい。今後ともどうぞ宜しく
お願い申し上げます。

ヴォルフガング・ミヒエル



昨年12月10日、日本獣医学大
学(東京都)において「第11回日本マイ
クロ・ナノパブル学会」が代表理事、
東京大平登先生の主導の下で、日本
獣医学大名誉教授
の小林史幸大会長によ
り開催された。
当院からは、化膿性
骨髄炎に対して、従来
の抗生薬の投与に加え
て高気圧酸素治療を併
用しつつ、閉鎖式局所
持続洗浄療法にオゾン
ナノパブル水を使
用した1例の結果を
発表しました。
再発率は4・9%と
画期的に低く、従
来のボビドンヨード
を加えたものより
明らかに良好な結
果であり、また、持
続洗浄中にテューブ
が閉塞することは
ほとんどなく管理
がしやすくなっ
た。

東京医科歯科大学院口腔保健衛生
学分野からの発表では、オゾンウルト
ラフラインパブル水の鼻粘膜上皮細胞
への影響を評価した結果、有害性が全
く認められなかった。徳島大学(徳島
大市)からは炭酸ガスナノパブル水に
より歯周病の除菌に
成功したことが発表
された。また、東京大物性
研究所の大平先生から
は、胃や腸の内視鏡手
術における応用で凝血
塊や血液成分を除去す
るのに極めて有効であ
るという実験的な成功が報告された。
このように医療の先端的分野におい
てもマイクロ・ナノパブルはいろいろ
と応用されるようになってきた。工業
や農業、創薬分野でもさまざまな応用
が発表された。
(川島整形外科病院長・中津市)



川島 真人

大分合同新聞 2024年(令和6年) 1月30日(火曜日)



先に述べた通り、昨年の11月12日に
開いた中津ロータリークラブ70周年の
式典の中で、「蘭学の里中津、命輝く
人材育成」というテーマで実行委員長
としてシンポジウムを企
画した。

その中で中津市歴史博
物館の曾我俊裕氏に担当
していただいた「蘭学大
名最上昌高とその周辺」
が、昌高が日本のみら
ず世界最初の和蘭辞書
『蘭語訳撰』を1810
年に刊行する際に大きな役割を果たし
た神谷弘孝(源内)に
触れていた。この
神谷家史料288点が
中津市に寄贈され、
曾我氏を中心として
ヴォルフガング・ミ
ヒエル九州大学名誉
教授が協力して解
読した結果、かなり
詳細が

分かってきた。
史料によると、弘孝
は中津藩校進徳館
で幅広い教育を受け
、昌高の蘭人との交
流の仲介となってい
ったことが分かる。
出島のオランダ商
館長ドゥーフは、弘
孝にヒテル・ファン
・デル・ストルプの
蘭名を与えた。昌高
がシールトをはじめ
の蘭商館長とドゥー
フらと交流する際
は、必ず弘孝の名前
が登場している。公
家の家から弘孝に
宛てた書簡では「高
野長英を昌高などの下
へ入りさせるよう願
い」などと弘孝に協
力を求めている。

シールトの一番弟
子である長英が村上
邸に残したと伝わる
「蘭語訳撰」の最後
までやりぬけなかつ
たら最初からしな
ない方がよい」とい
う意味の学問も
発見されている。
(川島整形外科病院長・中津市)



川島 真人

大分合同新聞 2024年(令和6年) 3月5日(火曜日)

SDGs~できることから始めよう~

省資源・省エネルギー委員長 眞邊 珠英

最近ではTV番組やCMで耳
にしたり、街でも目にするよう
になった【SDGs】という言
葉ですが、みなさんはSDGs
について考えたことはありません
か？

「SDGs」持続可能な開発
目標」には「地球が私たちの住
み続けられる環境で在り続けら
れるように、私たちが地球のた
めに取り組み続けられることを
しよう」という意味があります。
省資源・省エネルギー委員会
ではSDGsの取り組みの一つ
として、自然環境に着目し、マ
イボットの持参を全職員に呼び
かけています。



ペットボトルに使われるプラス
チックは自然に分解されることが殆
どなく、燃焼すると、温室効果ガス
が発生し、地球温暖化を促進させて
しまいます。しかし、マイボトルを
持ち歩けば、飲料水を買わずに済む
ため、ペットボトルのゴミを増やし
ません。

たったこれだけのことで、多くの人が
続けていけば地球温暖化をストップさ
せることに繋がります。
これから暖かくなって、お出かけも楽し
くなる季節です。ぜひマ
イボトルを持って出かけ
てみてくださいね。



なのみひな祭り

R6.3.3 (日) 「ひなまつり」
 女の子の健やかな成長と健康を願う
 「桃の節句」として慣れ親しんできました。
 ちょうど桃の花が咲く春らんまんの季節
 にてこう呼ばれています。桃の木は中国
 では病魔や厄災をよせつけない不老長寿
 の仙木とされ、節分にも桃の木の弓で鬼
 を追い払う儀式があったほど！！
 桃はとても縁起のいい植物なのです。
 今日は日曜日。利用者様と桃の節句を
 お祝いし、春の訪れをすぐそこに感じる
 穏やかな、ゆったりとした一日でした。



祝♡なのみ 開設20周年

平成16.4.1「老健なのみ」として運営を開始し、今年で丸20年を迎えることができました。
 「安心・安全・心のこもったサービスを提供します」を理念に掲げ、中津市のみならず近隣の福岡県を含め広域に渡り活動して参りました。
 昨今、高齢者を取り巻く社会的環境が劇的に変化している現状です。高齢者ケアに必要な介護現場でも人材の減少傾向が大きな課題となっております。
 この厳しい時代を乗り越え、これから先も地域に必要とされる「施設」を目指し職員一同、心新たな気持ちになりました。

なのみ みずべい

令和6年4月1日発行
 4月号
 介護老人保健施設なのみ
 中津市宮夫14-1
 No.113

節分 なのみ豆まきの様子



老健ってどういう施設だろう

介護老人保健施設なのみとは…

老健は介護認定を受けた方が利用できる施設です。

医療・看護・介護からリハビリまで、さらには栄養管理・口腔ケアなどのサービスを提供します。
 ご高齢の方や障害のある方など、ご利用者本人及びご家族様が安心した生活を続けられるよう支援します。またお住まいの地域で暮らし続けるためのさまざまなサポート体制が整っています。
 ひとりひとりの生活に合わせたサポートを行いますので、是非お問い合わせください。

病院から老健へ入所し、
 リハビリテーションを受けてから自宅に帰る



問い合わせ先・相談窓口

社会医療法人玄真堂 介護老人保健施設なのみ
 電話番号：0979-26-0656 FAX番号：0979-26-0858
 支援相談員：畑辺 (はたべ) ケアマネジャー：福田 (ふくだ)

さまざまな専門知識・技術を持った施設スタッフや協力スタッフがチームで利用者さんの生活を支えます



院内TQM発表会

4階病棟 看護師 三田 真沙実

続けていききたいと思います。

く事ができました。今回の活動を、今後も継続していききたいと思います。

3月9日に当院のTQM発表会が開催されました。4階病棟は「どうする感染対策〜新興・再興感染症に備えた環境づくり〜」と題して発表を行いました。

2022年に新型コロナウイルス感染症が流行し、現場のスタッフは対応や物品の不足に不安を感じる事がありました。そこで、QRコードを活用した感染対策の動画発信やマニュアル作成、物品整備、院内メールでの情報の共有など、感染症対策の環境を整えました。また患者様に安心して過ごして頂く為に、患者説明用紙やセルフ体調管理用紙を作成しました。その結果、感染症発生時の対応や物品不足に対する体制が整備され、発表会では見事1位を頂く事ができました。今回の活動を、今後も継続していききたいと思います。



第41回 玄真堂友の会開催

春の雨が続いていましたが、当日は良く晴れ、心地よい風が吹いておりました。会員様や患者様を含め30名近くの方に参加いただき、久しぶりにお会いする方もいらつしやる為、懐かしさもひとしおです。講演会では、時折うなずいていらつしやる方もおられ、皆様の健康に少しでもお役に立てればと感じます。今後とも患者様、利用者様に愛される玄真堂であり続けられるよう、職員一同来年に向けて企画を考えてまいります。



高気圧酸素治療について

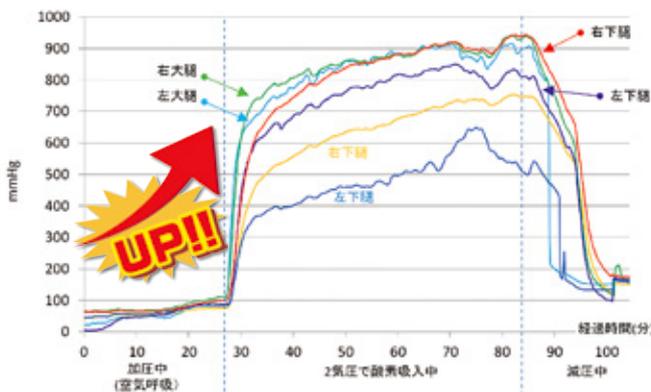
高気圧治療科 統括科長 臨床工学技士 山口 喬

以前、ラ・サンテ2022年新春号で、高気圧酸素治療（HBO）の原理・効果について概要を紹介しました。前回HBO中に体内の酸素量が増加することに触れましたが、具体的にその増加量はどれくらいなのでしょう。左のグラフはHBOの開始から終了までの酸素量の変化を実際に

測定したものです（動脈血中酸素分圧測定）。最初の20分ほどではほとんど変化が見られませんが、治療室内が2気圧になり、酸素マスクを装着して酸素を吸入し始めると、酸素量が急速に増加します。この例では最大で950 mmHgまで上昇しました。治療前と比較すると、酸素量は13・6倍

に増加したことになります。体内の酸素量を増加させることで、様々な疾患やケガからの回復を促します。また、気圧を高めると体内にある気体の体積が小さくなる原理を利用することもあります。多くの疾患の場合、HBOだけで治療を行うわけではなく、薬物療法や手術、リハビリテーションなどと、さまざまな治療法を組み合わせ、相互の治療効果を高めるようなアプローチが取られます。

高気圧酸素治療中の経皮的血中酸素分圧



骨や関節、軟部組織の感染症に対して

骨髄炎・化膿性関節炎・ガス壊疽・壊死性筋膜炎 など

- POINT!**
- 大量の酸素によって細菌が死滅します
 - 免疫担当である白血球がより細菌を攻撃しやすい環境になります
 - 抗菌薬がより効率的に作用するようになります

血行障害による障害に対して

末梢循環障害・脳梗塞・突発性難聴 など

- POINT!**
- 血行障害により酸素不足に陥った組織に大量の酸素を供給し、正常な機能を取り戻します
 - 血管から各組織に到達する距離（拡散距離）が延び、酸素不足を改善します

外傷・創傷・皮膚潰瘍に対して

圧挫減創・外傷性末梢血管障害・コンパートメント症候群・難治性潰瘍 など

- POINT!**
- 損傷した組織が修復する力を高めます
 - 腫れを改善したり、痛みを和らげる効果があります
 - 細菌による感染を解消または予防します

反響の大きかったブログの紹介!

地域医療連携室
井上 由貴



介護保険サービスセンターのケアマネのみっちゃんです。

同居の娘さんが少しでも休息できるようにと毎月ショートステイを調整するが、月の訪問時、玄関での第一声が「泊まりに行けと言うなら行かんよ。帰れ。」と、利用を拒否。

だが「利用中は穏やかに過し特に問題ない。」との施設の報告。どうも行くまでが嫌なよう。娘と私が結託し策略していると言い出す始末。それを娘さんが兄弟に愚痴ると今度は長男が本人を怒りとばし、そうすると本人が長女にあたる悪循環。

「いかに気持ちよく利用してもらえるか？」

当事業所の事例検討会で事例提供し、アドバイスをもらおうと考えている。

2024.1.19投稿の一部

在宅部門の職員が交替で日々感じたことや思いを、毎週金曜日にブログ「かわしまさんの介護のすゝめ」に投稿しています。アクセスしていただけたら幸いです。

スタッフほのぼのブログ毎週更新中です

かわしま 介護 ブログ

こちらからも
アクセスできます♪



Dr. コラム



1週間に150分以上の運動をしませんか？



診療部長 後藤 剛

最近、海外の論文で転倒を防ぐために運動をどのくらいすれば良いか？という趣旨の報告がありました。平均67歳の女性7000人を対象とした調査で、150分以上/週で運動を行えば1年間で転倒する危険性が有意に減り、ケガを伴う伴わない転倒ともに危険性を減らしたと報告されています。気になる運動の種類は、早歩き、中強度の運動（軽いテニスや水泳など）、高強度の運動（呼吸が荒くなるようなエアロビクス、サイクリング、ランニングなど）であり若干ハードル

が高いですが、これらの運動強度であれば特に差はなかったようです。この運動で転倒しては、もつてのほかなので現在の自分で出来る運動を出来る範囲で始め、継続することが大切です。1日計算で約22分と考えればそこまで長くはないですよ。運動により骨に刺激が生じ骨強度も増すことが期待出来ます。これから徐々に暖かくなり花粉を除けば運動しやすい環境が整います。今年こそ継続的な運動を始めましょう。



Ohana ~お花~

花の名前：クリスマスローズ
花言葉：「慰め」「いたわり」
時期：1月から5月頃まで

“クリスマスのバラ”という意味をも持つ『クリスマスローズ』。和名は『初雪起こし』『寒芍薬』と呼ばれるそう！うつむき加減に咲く姿、淡い色から濃い色の華やかさ、優美な名前と可憐な花弁も魅力的！この時期大好きなOhana ~お花~です♪ひだまり受付にて皆様をお出迎えて！

ひだまり主任 浦岡 由布子



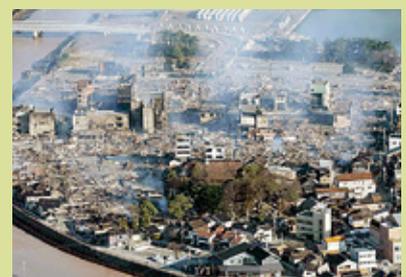
令和6年能登半島地震について

総務部副主任 瀬口 清美

1月1日に起こった能登半島地震。日本各地からの支援が今でも続いています。当法人も仕事始めの4日から支援金の呼びかけを開始し、約2週間あまりで411,820円が集まりました。ご協力をいただきました方々の『どうか無事でいてください』『心細い思いをされているかもしれないけれど、今できることを』という切なる願いが込められていると感じます。

皆様方のお気持ちは中津ロータリークラブを通じ届けられております。

ご協力いただきました方々に心よりお礼申し上げますとともに、今後も支援を続けていきますので、引き続きご協力をお願いいたします。



カワシマハンドセラピー研究会

- 2023.12.18
「症例報告」
大鶴作業療法士・川端作業療法士
「上肢外傷と自動車運転」
岸本リハビリテーション部副主任
- 2024.1.15
「症例報告」
岸本リハビリテーション部副主任・加藤作業療法士
「PIP関節脱臼骨折」
奥貞作業療法士
- 2024.2.19
「症例報告」
永田作業療法士
「橈骨神経」
久保作業療法士

川島肩をカタらう会

- 2024.1.29
「拘縮肩について」
田西理学療法士
- 2024.2.26
「振り子運動」
宮本リハビリテーション部副主任

膝関節勉強会

- 2023.12.13
「ACL損傷について」
前田理学療法士
- 2024.2.14
「人工膝関節術後の下肢深部静脈血栓症」
本山副院長

看護部勉強会

- 2023.12.15
リーダー学習会
- 2024.1.11・15・18
実習指導者学習会④
- 2024.1.12・17・20
継続（倫理）学習会
- 2024.1.15
認知症・せん妄勉強会
- 2024.2.24
新人後期学習会

院外発表・講演

- 2023.12.1
大分県北部保健所主催 令和5年度 パーキンソン病患者・家族交流会 (大分県)
「ジュニア選手の指導実習」「発育発達期の子供への指導」(障害予防・水分補給)「やってみよう！自宅のできるリハビリ」
奥村リハビリテーション部統括科長講演
- 2023.12.8-9
第1回日本膝関節学会 (神奈川県)
「人工膝関節術後の下肢深部静脈血栓症」
本山副院長発表
- 2023.12.10
第11回日本マイクロ・ナノバブル学会 学術総会 (東京都)
「オゾンナノバブル水を使用した閉鎖式局所持続洗浄療法」
宮田高気圧治療科副主任発表
- 2024.2.5
文京学院大学スポーツマネジメント研究所講習会
関節スペシャリストセミナー (東京都)
「股関節運動を治療に用いる際の臨床的工夫 ～動作に活かすための股関節運動とは～」
奥村リハビリテーション部統括科長講演
- 2024.2.11
第26回大分県理学療法士学会 (大分県)
「変形性股関節症の片脚立位を臨床指標とした歩行改善に向けての理学療法の一考察」
高藤理学療法士発表
「アキレス腱断裂で保存的治療を施行した症例 歩行改善を目指したアプローチの一考察」
川野理学療法士発表
「人工膝関節全置換術後の歩きやすさに着目した一例」
豊田理学療法士発表
「人工膝関節前置換術の歩行能力向上に難渋した症例」
馬場理学療法士発表

院内勉強会

モーニングセミナー

- 2023.12.22
「アタック レシーブ トス！」
古江副院長
- 2024.1.19
「股関節手術を契機とした出血」
本山副院長
- 2024.2.16
「脂肪塞栓症候群」
佐々木診療部長

水 滴 塾

第2回 2023年12月22日

- リハビリテーション部 斎藤主任
「稲盛和夫の哲学 人は何のために生きるのか?より」
- 5階病棟 清水副主任
「人を育てる100の鉄則より」
「道をひらくより」
- 放射線科 高橋健一郎
「TOP POINT2017年4月号 本田直之著 レバレッジ時間術 ノーリスク・ハイリターン成功原則より」
- 5階病棟 徳永師長
「三方よしの人間学 廣池千九郎の教え105選より」
- 訪問看護ステーション 中野副主任
「PHP松下幸之助塾 2015.11-12 Vol.226 元JR九州会長 唐池恒二(現:同社取締役相談役)お客様の心をつかむより」

第3回 2024年1月5日

- 事務局総務部 野依大希
「脳科学が明らかにした「誰もが幸せになれる法則」より」
- 通所リハビリテーション科 濱砂作業療法士
「松下幸之助塾 2015.3-4 Vol.22より」



- ひだまり 檜原副主任
「くじけない力を養う27の法則 (The Power of Failure 27 Ways to Turn Life's Setbacks into Success)」
- ひだまり 三角千津
「人を育てる100の鉄則より」
- 高気圧治療科 宮田副主任
「到知 2023年10月号「特集 出逢いの人間学」より」
- リハビリテーション部 岸本副主任
「到知 2023年5月号「吉田松陰と松下幸之助」より」

第4回 2024年2月9日

- リハビリテーション部 石井作業療法士
「れいろ 令和5年4月号10~21 温かい「ケア」への道しるべより」
- 企画情報部 清成主任
「ITMediaエグゼクティブ「マネジメント力を科学する」第17回疲弊していく組織。当事者意識と内発的モチベーションの重要性より」
- 栄養科 齋藤潤哉
「三國清三「三流シェフ」より」
- リハビリテーション部 合津理学療法士
「USJを劇的にかえた、たった1つの考え方 森岡毅に学ぶ マーケティング思考より」
- 介護保険サービスセンター 小野英樹
「PHP松下幸之助塾 2015.9-10 Vol.25 総合メディカル取締役相談役 小山田広貞氏 強い会社に理念あり「わたしたちの誓い」は生き方を問う〜経営の透明性に徹し、医療関連事業で飛躍〜より」

医局抄読会

第1、2、4火曜日の朝7時45分スタート

2023.12.12

手根管症候群術後の職場復帰に影響する因子
後藤診療部長

2023.12.26

60歳以上のTKA術後患者における下肢深部静脈血栓症のリスク
本山副院長

2024.1.9

橈骨遠位端骨折のギプス固定は4週か6週か
古江副院長

2024.1.30

JAK阻害剤と悪性腫瘍のリスク:適応疾患を横断したメタ分析
川島院長

2024.2.13

高齢患者における大腿骨頸部骨折に対する人工骨頭置換術 対 人工股関節全置換術
佐々木診療部長

2024.2.27

PIP関節(亜)脱臼骨折の治療で用いた掌側ミニプレート
トを屈筋腱鞘で保護する
後藤診療部長

論文(共同含)・誌上発表

- 川島真人:神谷弘孝(源内)と中津蘭学, 中津市医師会会報, 67:25-30, 2023

『圧力と栄養と健康』

- 講師： 関 邦 博 先生
- 日時： 2024年6月29日(土) 15:15~16:15
- 会場： ヴィラルーチェ(中津市東本町1 中津駅南口)



参加無料・申し込み不要

関邦博先生プロフィール

香川県生まれ。1967年神奈川大学卒業。1972年フランス、エクス=マルセイユ大学理学部卒業。76年同大学院修了、理学博士。76年科学技術庁所管の海洋科学技術センター研究副主幹、調査役。1996年神奈川大学理学部生物科学科教授。1991年国際水中科学技術アカデミーから水中のノーベル賞と呼ばれる第33回「トライデント金賞」を東洋人として初めて受賞。専門分野は環境生理学、高圧生理学、生理人類学、潜水学。近年はボリビアに移住し、「健康寿命と不老長寿」を研究テーマとして活動しています。自らがウルトラヴィーガン食を実践し、多くの人々が健康で長寿になるための情報を執筆を通じて発信されています。

【お問い合わせ】

第58回日本高気圧潜水医学会 学術総会事務局
中津市宮夫17(川島整形外科病院内)
0979-24-0464 juhms58@kawashimahp.jp



編集後記

木々の芽吹き、色とりどりの花、暖かな風、野菜畑で舞う蝶々、ドキドキワクワクな新生活が始まる季節となりました。アレルギー持ちの方には辛い季節でもありますね。当院も4月より新入職員を迎え、新たな風が吹いています。広報誌ラ・サンテは次号より新メンバーでの作成となります。今後も引き続き新メンバーで励んで参りますので、よろしくお願ひいたします。

Y・M

【患者様の権利と患者様の責務】

患者様は、個人としての尊厳が守られ、平等で最善の医療を受ける権利を有するとともに、医療を効果的にするために守って頂きたい事項があります。

【患者様の権利】

1. 病気の種類や個人的背景に関係なく、平等に医療を受ける権利があります。
2. 人格は尊重され、医療提供者との相互協力関係のもとで最善の医療を受ける権利があります。
3. 医療に関して十分な説明、情報を求める権利があります。
4. 医療内容について自分で選択し決定する権利があります。
5. 自己の意思に反する医療を拒否する権利があります。
6. 自己の診療記録の開示を求める権利があります。
7. プライバシーや個人情報保護される権利があります。
8. 健康維持のため教育やサービスを受ける権利があります。
9. 安全を確保される権利があります。

【患者様の責務】

1. 医療提供者に対し、患者様ご自身の健康に関する情報の提供
2. 他の患者様の療養生活に支障を与えない配慮
3. 早期回復の為、医療提供者が定めた規則の遵守
4. 円滑な医療行為の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
5. 早期回復の為の、患者様・ご家族の積極的な医療への参加
6. 診療費の遅滞ない支払い